

小学校4年生の保護者の皆さんへ

学力の定着と伸長を目指して ～チーム・Tachikawa～

タグ (tag) を組んで、子どもの学びを
共に支えていきましょう！



立川市教育委員会では、これまで「全国学力・学習状況調査」(国の調査：小学校6年生、中学校3年生で実施)や「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(東京都の調査：小学校5年生、中学校2年生で実施)の結果を分析し、学習のつまずきや児童・生徒の学習に関する意識を明らかにし、授業改善のポイントを各学校に提示してきました。

各学校は、学習のつまずきや授業改善のポイントを踏まえ、授業改善に取り組んでいます。

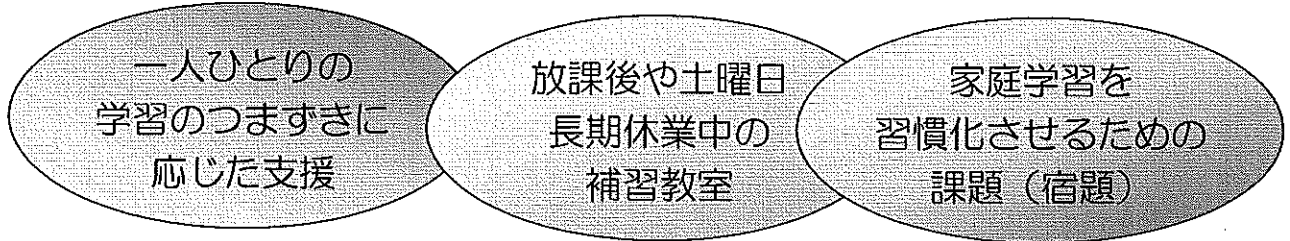
児童一人ひとりに確かな学力を育むためには、家庭・学校・地域がより一層連携を深めていくことが大切です。

ご家庭におきましても、本パンフレットを活用して、子どもの学びを共に支えましょう。

平成30年3月
立川市教育委員会

子どもたち一人ひとりが「分かる」「できる」ようになるために

例えば、かけ算ができなければ、三角形の面積を求めることができません。三角形の面積が求められなければ、三角柱の体積は求められません。このように、学習内容を一つずつ確かめ、定着させながら進めることが大切であり、学校では、基礎・基本を確実に身に付けさせる指導をしています。



次のような指導の徹底を目指していきます。

- ◇ 習熟の程度に応じた習熟度別指導
(基礎的・基本的知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう意欲・態度)
- ◇ 学年を超えて分からない内容に即した指導
- ◇ 「分かる」「できる」まで繰り返し指導

習熟度別指導とは？

- ◇ 単元ごとの柔軟なコース（グループ）編成
 - ◇ コースに応じた学習課題や教材
 - ◇ 学習のつますいたところまで、立ち戻る指導
 - ◇ 学んだこと（分かったこと・できたこと）を活用する発展的な学習
- によって児童一人ひとりに応じた指導を行うこと。



学びのプロセス



国語

◆ 同音異義語を理解し、正しく書くことに課題があります。

◇ 問題の概要

【問題】 次の _____ 部のひらがなを漢字で、ていねいに書きましょう。

参加 たいしょう 4年生の希望者

◇ 児童の解答

正答 「対象」 正答した児童の割合 33.5%

誤答 「たい」を「対」と解答しているが、「しょう」を「象」と解答していない児童の割合 32.6% 誤答例：(しょう) 正・照・称 等

〈参考 都の平成 24 年度調査〉

【問題】 次の _____ 部のひらがなを漢字で、ていねいに書きましょう。

水をたくわえるために、貯水ちをつくる。

◇ 児童の解答

正答 「池」 正答した児童の割合 24.5%

誤答 「地」 「地」と誤答した児童の割合 57.8%

取り組んでみましょう！



日常生活において、漢字の意味を捉えさせ、正しく書けるようにすることが大切です。漢字を正しく読み、正しく書く力は、文や文章を理解したり表現したりするために必要な知識や技能であり、漢字を含む語彙の充実を図る上でも重要です。

① 日常生活の会話の中の音声（言葉）について、その漢字をお子さんに尋ねてみましょう。

① ……ニュースで、「高尾山は多くの人がやまのぼりを楽しんだ！」と言ってたよ。

② 高尾山の木々は色付き始め、景色が移りかわる様子を見に、やまにのぼったのではないかしら。

③ 「やまのぼり」や「かわる」を漢字で書く、どのようになるのかな？

④ 「やまのぼり」は登山をすることだから、「山の上り」ではなくて「山登り」だと思う。「かわる」は何かの代わりでなく、変化だから「変わる」だね。

② 日常生活においても、国語辞典や漢字辞典の活用を習慣付けましょう。

漢字を習得し語彙を拡充するためには、国語辞典や漢字辞典を日常的に活用して調べる習慣を付けることが大切です。辞書を日常的に活用するために、必要なときには、いつでも辞書が手元にあり使えるような環境をつくりましょう。

算 数

◆ 量の関係を捉え、式に表すことに課題があります。

◇ 問題の概要

【問題】 青色のペンキと緑色のペンキがあります。青色のペンキのかさは35 dLで、緑色のペンキのかさは14 dLです。青色のペンキのかさは、緑色のペンキのかさの□倍であることを、□を使ったかけ算の式で表しましょう。

◇ 児童の解答

正答 $14 \times \square = 35$ と正答した児童の割合 46.5%

誤答 $35 \times 14 = \square$ と解答している児童の割合 3.1%

取り組んでみましょう！



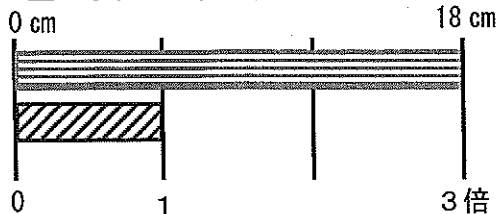
数量関係を、「基準量・比較量・割合」の関係で捉え、式で表してみることが大切です。

○ 日常生活の場面における数量関係を（演算決定の前に）「基準量・比較量・割合」の関係で捉えてから、式で表現してみましょう。

① 「青いリボンの長さは、18 cmです。これは、赤いリボンの長さの3倍にあたります。赤いリボンの長さは、何cmですか。答えを求める式とその答えを書きましょう。

② この問題の正答率は、49.8%（都全体）でした。「3倍」の言葉から乗法と判断し、 $18 \times 3 = 54$ 答え54 cmという誤答が多かったです。

① 図に表してみる。



基準量 \times 割合 = 比較量 比較量 \div 割合 = 基準量 比較量 \div 基準量 = 割合
 $18 \div 3 = 6$ 答え 6 cm

② 基準量・比較量・割合の関係を捉える。

青いリボン 18 cm = 比較量
 赤いリボン ? cm = 基準量
 3倍 = 割合

③ □を使った式で表す。

赤いリボン = □、赤いリボンの3倍が青いリボン。

$\square \times 3 = 18$ $18 \div 3 = 6$ 答え 6 cm

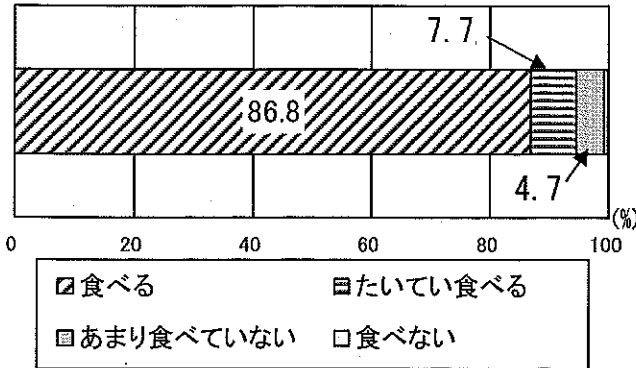
「児童の学習や生活に関する意識」と「学力」とのかかわりについて (平成 29 年度「全国学力・学習状況調査」の児童質問紙調査から)

※ A 〈知識に関する問題〉、B 〈活用に関する問題〉、平均正答率：国語 A・B と算数 A・B の平均正答率

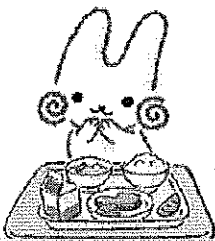
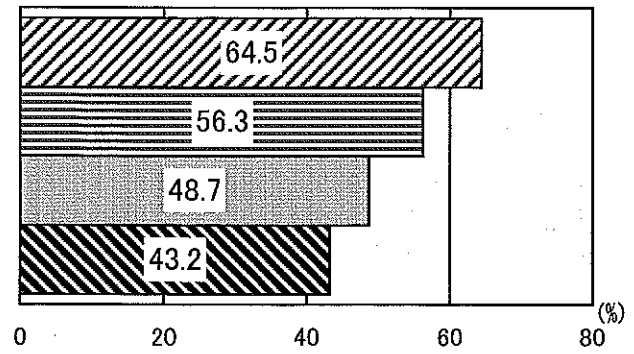
※【〇〇調査結果】は、無回答もあるため、必ずしも合計が 100% になるとは限りません。

1 朝食を毎日食べていますか。

【朝食を食べることについての調査結果】



【朝食を食べることと平均正答率との相関】

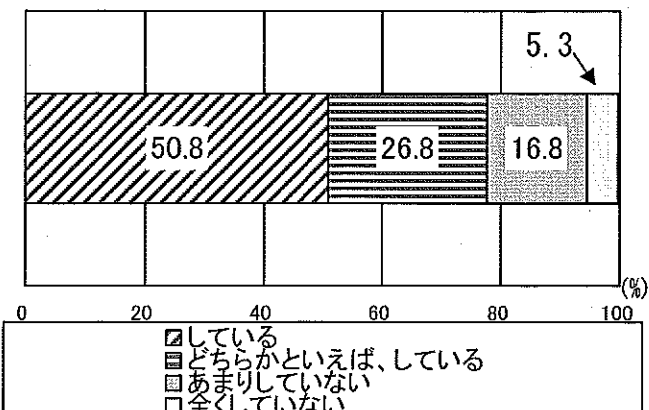


約 95% の児童が、朝食を「毎日食べる」または「たいてい食べる」と回答しています。また、朝食を食べる児童ほど、平均正答率が高い傾向にあります。

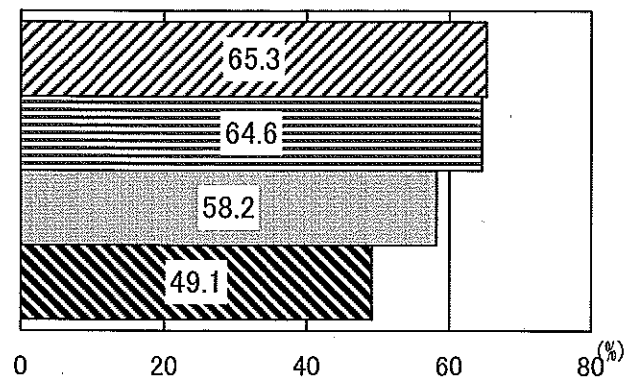
児童が、規則正しい健康的な生活を送れるようにすることが大切です。

2 家の人（兄弟姉妹は除く）と学校の出来事について話をしますか。

【家の人と話をすることについて調査結果】



【家の人と話をすることと平均正答率との相関】



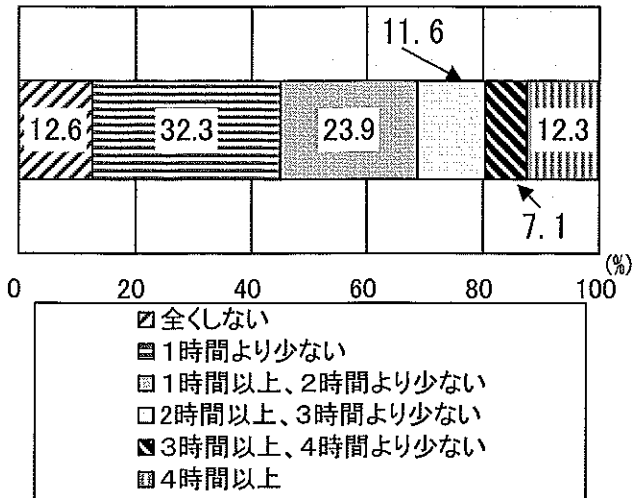
約 78% の児童が、家の人と学校の出来事についての話を「している」または「どちらかといえば、している」と回答しています。また、家の人と学校の出来事について話をしている児童ほど、平均正答率が高い傾向にあります。

児童と学校の出来事や友達について話をする機会を設け、家族団らんの場を設定することが大切です。

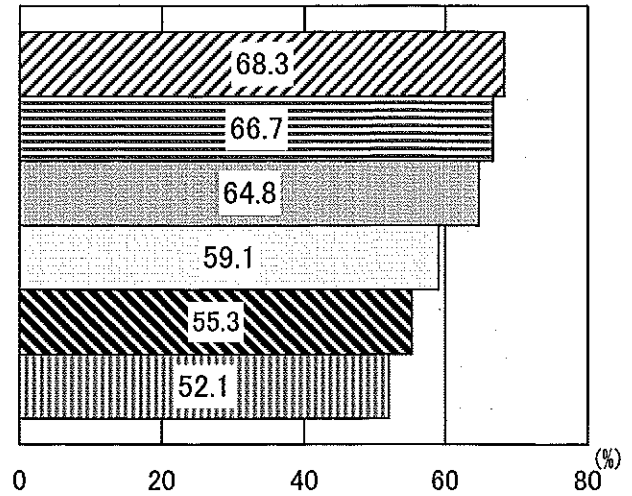


3 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム）をしますか。

【テレビゲームの時間についての調査結果】



【テレビゲームの時間と平均正答率との相関】

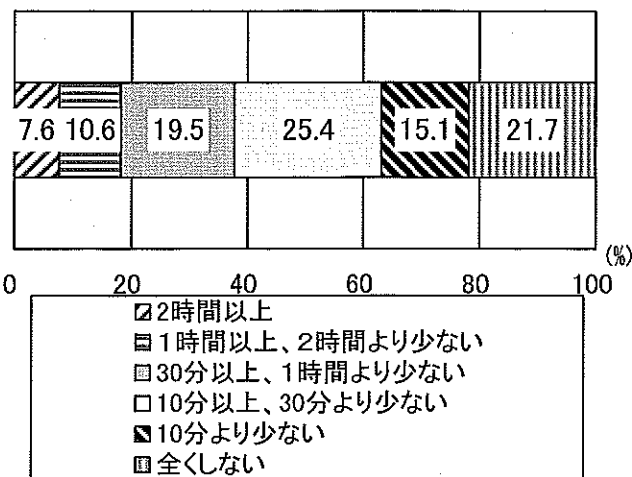


テレビゲームを行っている時間は、「1時間より少ない」と回答した児童の割合が最も多く、約32%です。また、テレビゲームを「全くしない」「1時間より少ない」と回答した児童ほど、平均正答率が高い傾向にあります。

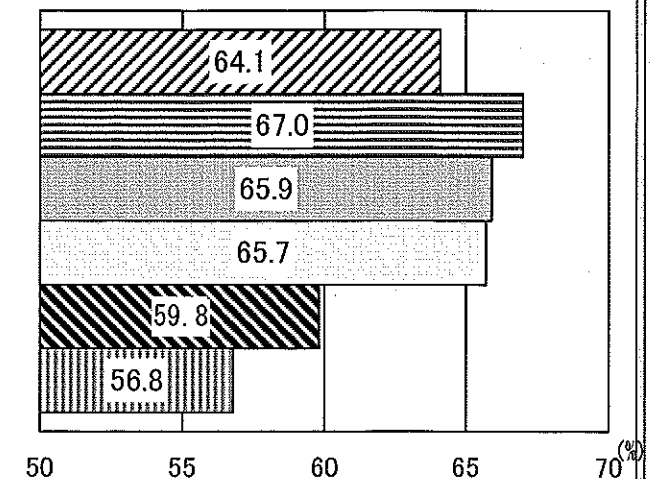
テレビゲームを行う時間を、家庭のルールとして決めるなど、児童が、規則正しい健康的な生活を送れるようにすることが大切です。

4 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

【授業以外における読書時間の調査結果】



【授業以外の読書時間と平均正答率との相関】

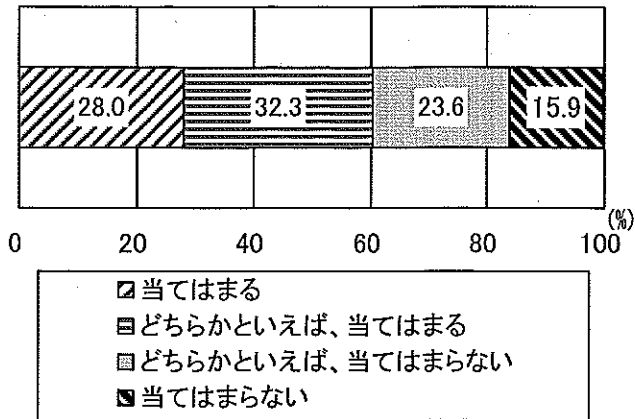


読書をしている時間は、「30分以上、1時間より少ない」と回答した児童の割合が最も多く、約25%です。また、読書時間が「1時間以上、2時間より少ない」と回答した児童が最も平均正答率が高くなっていました。適度な読書（量）は、語彙を広げ、理解力が身に付き、想像力等を豊かにしてくれます。読書習慣を身に付けることが大切です。

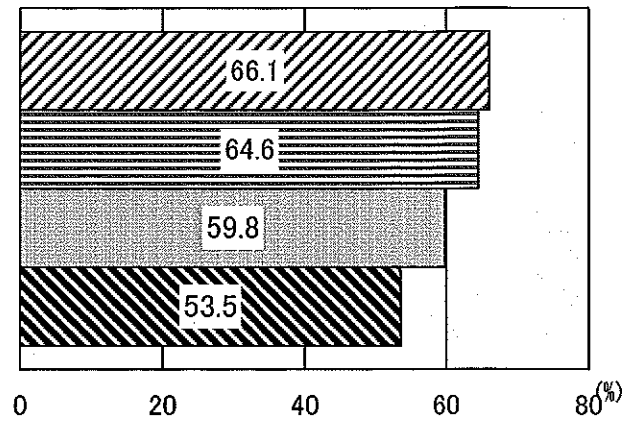


5 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。

【地域や社会で起こっている問題や出来事への関心について調査結果】



【地域や社会で起こっている問題や出来事への関心と平均正答率との相関】

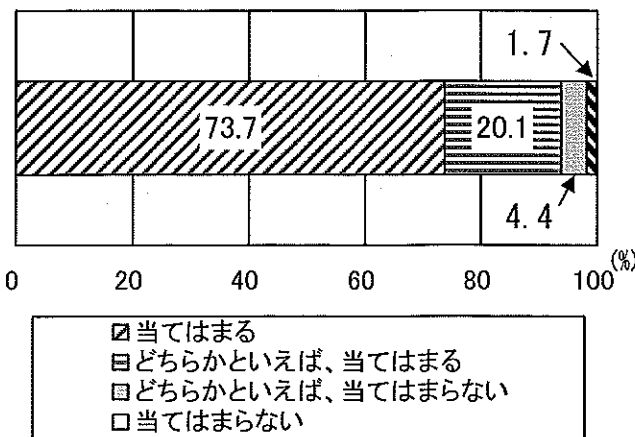


約 60%の児童が、「地域や社会で起こっている問題や出来事について関心がありますか」という質問に対し「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。また、「当てはまる」と回答している児童ほど、平均正答率が高い傾向があります。

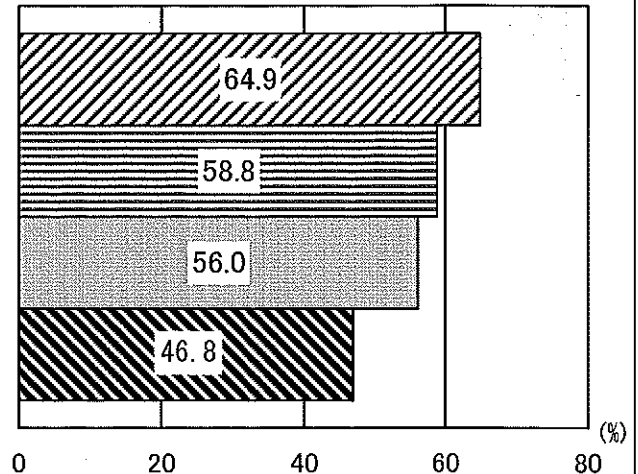
児童と地域や社会の問題や出来事について話をする機会を設け、コミュニケーションを図るようにすることが大切です。

6 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。

【最後までやり遂げて、うれしかったことについての調査結果】



【最後までやり遂げて、うれしかったことと平均正答率との相関】



約 94%の児童が「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。また、「当てはまる」と回答している児童ほど、平均正答率が高い傾向があります。

決まった仕事を与える等、家庭での児童の役割を明確にし、最後までやり遂げたことについてほめたり、認めたりすることが大切です。



日々の生活から「学び」を見つめ直す

「全国学力・学習状況調査」の結果から、基本的な生活習慣や学習習慣を確立させることが、学力の定着に関係していることが明らかになりました。

次の項目について、お子様と一緒に確かめ、繰り返しチェックをしてみましょう。

日常生活チェックポイント10

自分自身で起床、就寝ができ、毎朝、しっかりと朝食をとってから、登校していますか。①

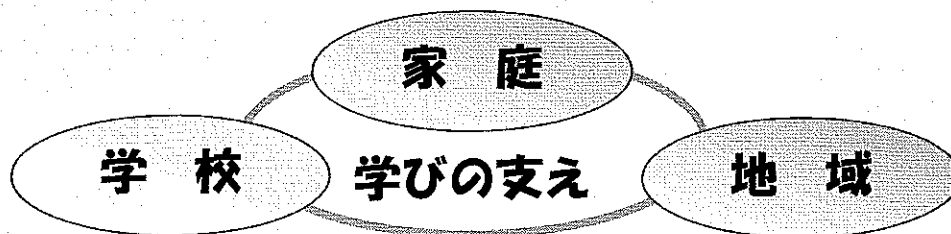
「おはようございます」「行きます」「ありがとうございます」等のあいさつをしていますか。②

自分自身で、身の回りの整理整頓ができていますか。③

時間を決めて、テレビを見たり、携帯電話やスマートフォン等でゲームをしたりしていますか。④

自分自身で、時間や内容を決めて、家庭学習に取り組んでいますか。⑤

家の人に、学校での出来事について話を進んでしていますか。⑥



家の人と社会で起こっている問題や出来事について話し合っていますか。⑦

家の人や大人に対して丁寧な言葉づかいができていますか。⑧

時間を決めて、計画的に読書をしていますか。⑨

家の中で自分が担当する仕事を決めて、実践していますか。⑩

